

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511529(P2000-511529A)

【公表日】平成12年9月5日(2000.9.5)

【出願番号】特願平9-542424

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 233/80

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/28

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/403

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 K 31/4152

A 6 1 K 31/4166

A 6 1 K 31/42

A 6 1 K 31/427

A 6 1 K 31/435

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/502

C 0 7 C 235/84

C 0 7 C 237/48

C 0 7 C 275/40

C 0 7 C 311/15

C 0 7 D 209/72

C 0 7 D 221/04

C 0 7 D 233/84

C 0 7 D 237/26

C 0 7 D 261/14

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 403/06

C 0 7 D 409/06

C 0 7 D 409/12

C 0 7 D 413/06

C 0 7 D 417/06

// C 0 7 C 255/57

【F I】

C 0 7 C 233/80

A 6 1 K 31/00 6 2 5 C

A 6 1 K 31/00 6 2 6 G

A 6 1 K 31/00 6 2 6 N

A 6 1 K 31/165 6 0 2

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/40 6 0 5

A 6 1 K 31/41 6 0 3

A 6 1 K 31/415 6 0 2

A 6 1 K 31/415 6 0 7

A 6 1 K 31/42
A 6 1 K 31/425 6 0 2
A 6 1 K 31/435
A 6 1 K 31/44 6 1 3
A 6 1 K 31/50 6 0 2
C 0 7 C 235/84
C 0 7 C 237/48
C 0 7 C 275/40
C 0 7 C 311/15
C 0 7 D 209/72
C 0 7 D 221/04
C 0 7 D 233/84
C 0 7 D 237/26
C 0 7 D 261/14
C 0 7 D 401/06
C 0 7 D 403/06
C 0 7 D 409/06
C 0 7 D 409/12
C 0 7 D 413/06
C 0 7 D 417/06
C 0 7 C 255/57

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月21日(2004.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 4月21日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成09年特許願第542424号

2. 補正をする者

氏名(名称) ファルマシア・アンド・アップジョン・カンパニー

3. 代理人

住所

〒540-0001

大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル

青山特許事務所

電話 06-6949-1261

FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 稔



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり。

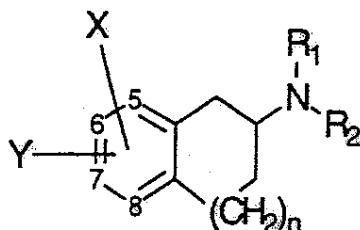
方 式 審 査



(別紙)

請 求 の 範 囲

1. 構造式 I :



[式中、XおよびYは、5、6または7の位に存在し、ここに、

i) n が1である場合、Xは $(\text{CH}_2)_m\text{CONR}_4\text{R}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{SO}_2\text{R}_3$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{SO}_2\text{NR}_4\text{R}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{NR}_4\text{CONHR}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{NH}\text{SO}_2\text{R}_3$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{NHCOR}_3$ または $\text{C}(\text{O})\text{R}_4$ (ここに m は0または1であるが、但し m が0である場合、Yは水素またはハロゲンではない) であって；

Yは R_4 、 $(\text{CH}_2)_p\text{CONR}_4\text{R}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_p\text{CN}$ 、 $(\text{CH}_2)_p\text{SO}_2\text{NR}_4\text{R}_5$ 、 OR_6 、 $(\text{CH}_2)_p\text{SO}_2\text{R}_3$ 、 $(\text{CH}_2)_p\text{NH}\text{SO}_2\text{R}_3$ 、ハロゲン、または $(\text{CH}_2)_p\text{NHCOR}_3$ (ここに p は0または1) であり；

ii) n が0または1である場合、XおよびYは互いに対してオルト一位で存在し、互いに結合して：

a) $-\text{C}(\text{O})\text{NR}_{10}\text{C}(\text{O})-$ 、

b) $-\text{C}(\text{O})\text{NR}_4(\text{CH}_2)_x\text{NR}_{10}\text{C}(\text{O})-$ (ここに x は0または1)、

c) $-\text{CH}_2\text{NR}_{10}\text{C}(\text{O})-$ 、

d) $-(\text{CH}_2)_2\text{NR}_{10}\text{C}(\text{O})-$ 、

e) $-\text{CH}_2\text{C}(\text{O})\text{NR}_{10}-$ 、

f) $-\text{N}(\text{R}_3)-\text{C}(\text{O})-\text{N}(\text{R}_3)-$ 、

g) $-\text{N}(\text{R}_3)-\text{C}(\text{O})-\text{O}-$ 、

h) $-\text{N}=\text{C}(\text{R}_7)-\text{N}(\text{R}_3)-$ 、または

j) $-\text{CH}_2\text{N}(\text{R}_8)\text{CH}_2-$ となり ; あるいは

i i i) n が0であって Y が OR_9 である場合、 X は $(\text{CH}_2)_m\text{CONR}_4\text{R}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{SO}_2\text{NR}_4\text{R}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{NR}_4\text{CONHR}_5$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{SO}_2\text{R}_3$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{NH}\text{SO}_2\text{R}_3$ 、 $(\text{CH}_2)_m\text{NHCOR}_3$ または $\text{C}(\text{O})\text{R}_4$ (ここに m は0または1)であり ;

R_1 および R_2 は独立して、 H 、 C_1-C_8 アルキルまたは C_1-C_8 アルキルアリールであり ;

R_3 は C_1-C_8 アルキル、 C_1-C_6 アルキルアリールまたはアリールであり ;

R_4 および R_5 は独立して、 H 、 C_1-C_8 アルキル、 C_1-C_6 アルキルアリールまたはアリールであり ;

R_6 は H 、 C_1-C_8 アルキル、 C_1-C_6 アルキルアリール、アリール SO_2CF_3 、 $\text{SO}_2\text{C}_1-\text{C}_8$ アルキル、 $\text{SO}_2-\text{C}_1-\text{C}_6$ アルキルアリールまたは SO_2 アリールであり ;

R_7 は水素、 $\text{CON}(\text{R}_4)_2$ 、 $\text{SO}_2\text{N}(\text{R}_4)_2$ または SO_2R_4 であり ;

R_8 は C_1-C_8 アルキル、 C_1-C_6 アルキルアリール、アリール、 $\text{CON}(\text{R}_4)_2$ 、 COR_4 、 $\text{SO}_2\text{N}(\text{R}_4)_2$ または SO_2R_4 (但し、各々の場合において、 R_4 は水素ではない) であり ;

R_9 は(所望により1~3個のハロゲンで置換されていてもよい) C_2-C_8 アルキル、 C_1-C_6 アルキルアリールまたはアリールであって ;

R_{10} は H 、 C_1-C_8 アルキル、 C_1-C_6 アルキルアリール、アリールまたは $(\text{CH}_2)_{0-6}\text{SO}_2$ アリールである]

で示される化合物またはその医薬上許容される塩。

2. n が1である請求項1記載の化合物。

3. R_1 および R_2 が独立して、 H または C_1-C_6 アルキルである請求項1記載の化合物。

4. R_1 および R_2 が共にプロピルである請求項3記載の化合物。

5. Y が水素である請求項1記載の化合物。

6. X が $(\text{CH}_2)_m\text{NH}\text{SO}_2\text{R}_3$ である請求項1記載の化合物。

7. R_3 が、所望によりCN、C1、 NO_2 またはメチルで置換されていてもよいフェニルである請求項6記載の化合物。

8. n が0であって、XおよびYが結合して

a) $-C(O)NR_{10}C(O)-$ 、

b) $-C(O)NR_4(CH_2)_xNR_{10}C(O)-$ (ここに x は0または1)、

c) $-CH_2NR_{10}C(O)-$ 、または

j) $-CH_2N(R_8)CH_2-$

となる請求項1記載の化合物。

9. XおよびYが結合して、 $-C(O)NR_{10}C(O)-$ [ここに、 R_{10} は水素、 CH_2 アリールまたは(所望により、F、C1、 OCH_3 、 OCF_3 、 CF_3 、 CO_2CH_3 またはCNで置換されていてもよい) C_1-C_3 アルキルフェニル]となる請求項8記載の化合物。

10. 該アリールがベンゾトリアゾール、チオフェニルまたはフェニルである請求項9記載の化合物。

11. XおよびYが結合して、 $-C(O)NR_4(CH_2)_xNR_{10}C(O)-$ (ここに x は0であり、 R_4 は水素であって、 R_{10} は水素)となる請求項8記載の化合物。

12. XおよびYが結合して、 $-CH_2NR_{10}C(O)-$ [ここに R_{10} は水素または(所望によりF、C1、 OCH_3 、 OCF_3 、 CF_3 またはCNで置換されていてもよい) CH_2 フェニル]となる請求項8記載の化合物。

13. XおよびYが結合して、 $-CH_2N(R_8)CH_2-$ [ここに R_8 は SO_2 ベンゾオキサジアゾール、 SO_2 オキサゾリル、 SO_2 チオフェニルまたは SO_2 フェニル(これらの全ては、所望により1または2個のC1、 CH_3 またはCNで置換されていてもよい)]となる請求項8記載の化合物。

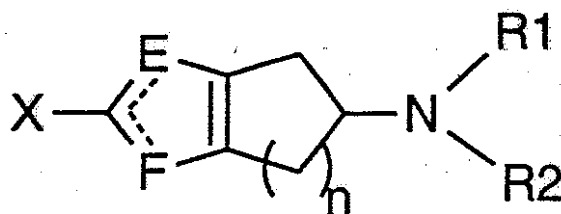
14. n が0であり、Yが OR_9 [ここに R_9 は(所望により1~3個のハロゲンで置換されていてもよい) C_2-C_8 アルキル]であって；

Xが $(CH_2)_mCONR_4R_5$ (ここに R_4 および R_5 は独立して、H、メチルまたはエチル)である請求項1記載の化合物。

15. 2-(ジプロピルアミノ)-6-エトキシ-2,3-ジヒドロ-1*H*-イン

デン-5-カルボキサミドである請求項14記載の化合物。

16. 構造式III:



[式中、EまたはFのうちの1個はNであって、もう1個はSであり；

nは1または2であり；

R₁およびR₂は独立して、H、C₁–C₈アルキルまたはC₁–C₈アルキルアリアルであり；

Xは(CH₂)_mCONR₄R₅、(CH₂)_mCN、(CH₂)_mSO₂NR₄R₅、
(CH₂)_mNR₄CONHR₅、(CH₂)_mSO₂R₃、(CH₂)_mNHSO₂R₃、
(CH₂)NHCOR₃またはC(O)R₄(ここにmは0または1)であり；

R₃はC₁–C₈アルキル、C₁–C₆アルキルアリアルまたはアリアルであり；

R₄およびR₅は独立して、H、C₁–C₈アルキル、C₁–C₆アルキルアリアルまたはアリアルである]

で示される化合物およびその医薬上許容される塩。

17. 該「F」の位がNであって、該「E」の位がSである請求項16記載の化合物。

18. R₁およびR₂が独立して、水素またはC₁–C₈アルキルである請求項16記載の化合物。

19. Xが(CH₂)_mNR₄CONHR₅である請求項16記載の化合物。

20. mが1であり、R₄が水素であって、R₅がアリアルである請求項19記載の化合物。

21. アリアルが(所望により、塩素原子で置換されていてもよい)フェニルである請求項20記載の化合物。